

保健

ノート



発行日 2月13日
1427 林田 晴希

兵庫高等学校 生徒保健委員会
1210 川崎遼太

2月号

つめたい風が吹く2月となりました。冬になると肌やくちびるの乾燥は気になりませんか？今回はこの時期だからこそ気をつける肌トラブルについてまとめました。

なぜ冬は乾燥しやすいの？

まず皮膚は
2つのバリア、
機能がある。
①皮脂の膜で表面をおおう
②表皮の一番上有る角質層の働きで体内の水分がにげないように保つ

これらの機能が弱ると…
肌が乾燥
感染症・肌トラブル
増

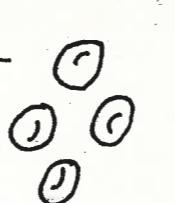


原因

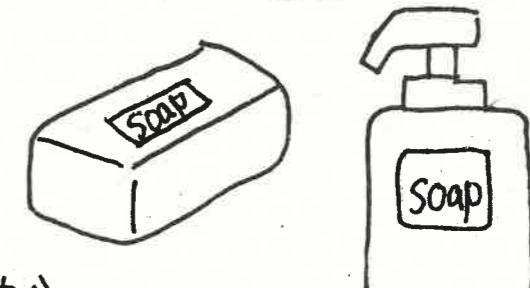
- 暖房器具
- 運動不足 (汗をかかないから)
- 気温 温度の低さ
- 間違った入浴法 (お湯が熱すぎ)

対策 体の外だけではなく内側からの乾燥予防!!

- お風呂はぬろめ (38°C ~ 39°C) に入り 入浴後は保湿する
- 部屋の湿度を上げて水分補給をする オススメ 大豆 ヨーグルト
- バランスのよい食事をとる
→ 特にビタミン不足にならないようにする



乾燥肌もニキビも
ひどければ皮膚科を
受診すること!!

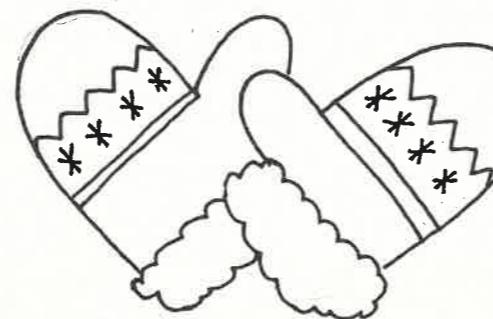


参考文献

https://www.daiichi-sankyo-hc.co.jp/health/symptom/45_kansouhado/index3.html
<https://www.nhk.or.jp/kenko/ato-1037.html>

風邪に負けないために

最近、全国的に新型コロナ、インフルエンザが同時に流行しており、兵庫高校内でも欠席数が増えています。そこで、体の機能や免疫力を高めるために効果的な栄養素や食べ物を紹介します。



土台的存在!!



◎免疫と大きく関わるエネルギー產生栄養素

私たちが生きる中で大切なエネルギー源となる炭水化物、たんぱく質、脂質は、体を守るために重要な役割を担っています。これら3つのエネルギー产生栄養素が土台となり、体の健康を保っています。

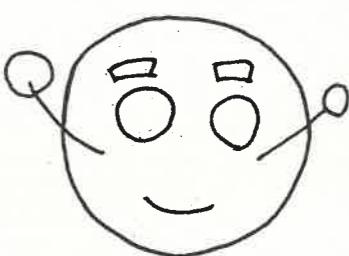
炭水化物は主に熱を作り出し、体温の維持やエネルギー源として働きます。体温は免疫と大きく関わっていて、体温が上ると血液の流れもよくなり、免疫細胞である白血球が体のすみずみまで行き渡ります。また、免疫細胞の働きも活発になるので体温が上がり、免疫力が高まることがあります。また、免疫力を高めると考えられています。たんぱく質は体の材料となる栄養素です。血管や皮膚などの細胞は、全員でたんぱく質から作られています。たんぱく質が不足すると、皮膚や血管の弾力が落ち、体力や免疫力も低下しやすくなります。脂質のコレステロールは細胞膜の材料となります。細胞膜がしっかりと作られることで病原体の侵入を防ぐ役割があり、とても大切な栄養素なのです。

◎免疫力を高めるビタミン

ビタミンは、体の働きをサポートする栄養素です。中でも抗酸化作用を持つビタミンC、ビタミンA、ビタミンEは免疫力に大きく関わっています。ビタミンCは、病原体が体内に侵入してきたときに戦う免疫細胞をサポートする働きをします。ビタミンCは水溶性のため、体に貯めておくことができません。そのため、毎日の食事や間食から摂取することが大切です。

ビタミンAは、皮膚や粘膜を健康に保ちます。ビタミンAが不足してしまうと、皮膚や粘膜が傷つきやすくなり、抵抗力も弱まりやすくなります。ビタミンEは、細胞膜に存在し、細胞膜を作つてくれば、リン脂質が酸化するのを防いでくれます。リン脂質が酸化してしまうと過酸化脂質ができる、それがにより細胞膜が障害されてしまいます。

サポート的
存在!!



◎おすすめの食べ物

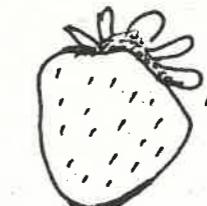
寒い冬に負けないために 免疫UP!

体の機能が高まる旬の食材たち



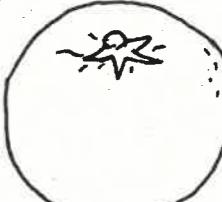
かぼちゃ

ビタミンEや
食物繊維
が豊富



いちご

ビタミンCが
豊富



みかん

ビタミンCが
豊富



ハク

たんぱく質、ビタミンA、C、E…
とにかく栄養満点!



かき

たんぱく質や
亜鉛などが豊富

参考 <https://eat-treat.jp>